

日中がわぐす

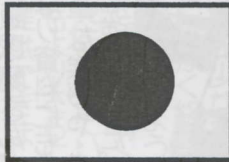
No.37

2008年12月23日発行

ホームページ

www5.ocn.ne.jp/~k-jcfa

編集・制作 電腦倶楽部



川口市日本中国友好協会

川口市上青木1-20-3

TEL 048-253-2177

発行責任者 栗原喜一郎

今生の願い 坂本隆太郎

新しい年、2009年を迎える。私も89歳となります。若い時代から今日まで、私の生存する年代を考えないことにはありせんでした。特に昭和年代を生きたものとして身近に起きていることは戦争です。男子として兵役は当然と思ひ国家のため、天皇のため自己の命を捧げることは当然である。と教えられる参り、然るにそれに対する矛盾を覚えたこともありませんでした。

第一次世界大戦中、私の父、おつた北安陸軍病院の隊長、笹々間軍医中佐が時折将校、下士官を集めて「時事問題」についての講話を開きました。今振り返って見て、一般新聞でさえ見ることが出来ない時代、軍医だとは言え、時事問題等に就いてのお話をする。ことなど考えられなかった。特にそのような話が出る前に新潟県出身でインテリの池田某一等兵が新聞をどこからか入手し、内務班で見ていたことが発覚し、数日後には行き先不明で、部隊にいななくなつた。何故そうしたかは誰も口にしない。噂もしなかつた。当時は隊内で新聞を見ることは禁じられていたし、新聞を見ようとな人は思想的に危ないと言われていた。

そんな時代に病院の隊長といえ、時事問題を論じ、敵国

米国と比較して到底、無いと云われた。私などは勝ち目は無い戦争だ。が負けるとは思わなかつた。皇陛下の一言で戦争をやめた。日本側の敗戦によって、その後中国側より戦争の本質や中国に献で知らされてきたし、終戦の行動を聞かす中で、日本軍隊の御身大切で多くの下士官、兵や一般居留民や国策で集めた開拓団員などは、その命を永らえ多くの友人も出てきたが、もし、ソ連に連行されてきたら無事でいられたか、大きな疑問だ。

鶴岡炭鉱に行つてから給料は基本を決定。私は周囲の中国人の意見により一度に三階級給料が上がり科長より多くなつた。中国は国内革命に突入。私とは日本人も革命の外に居ることは許されず、何故革命が必要か、勉強を進める中で、且つ中国の現実の中で、それなりに進むべき方向を掴んでこの川口に居を構えました。

訪問し、中国との友好交流を始めたので、それを機に川口を創設し友好事業を始

めた。中国との友好を強く信じて周りの人々の援助によつて友好事業を始めたが、過去の経験から言葉の必要性を身をもつて感じていたので教室の開設を進めた。

同時に両民族の友好交流は少なくとも百年単位で継続する必要性を感じていた。この教室から後を継ぎたい人を育てようとして取り組んだ。その結果はかの地区協会では後継者不足で、協会は立ちゆかなくなつたが、わが川口日中ではその心配は少ない。しかし全然無いわけでは無い。それがために幹部や会員は特に、会員獲得と幹部育成を常に念頭に置き行動してきたいと強く思います。中国語の十分に認識して頂き、師の方々に遠大な協会の目的を十分に認識して頂き、終るのではなく、友好の戦士である自覚を持つて接してもらつて、よく折に触れては切磋琢磨しなくてはならない。

したがつて直接教室の世話係の事務局員等はそれをしなくてはならない。2009年の新春を迎えるにあたり会として全員が会員倍增の意気を持って進みましょう。



川口親子教室大使館訪問

内野 繁子

7月28日 8時30分新郷南小学校を出発、子ども19名・父兄12名・学校関係者6名・協会6名総勢44名 バスの中では校長先生・栗原理事長の挨拶の後、副事務局長の飯塚蘭さんが中国語の先生になり資料にもとずき中国語で簡単な挨拶や・名前の読みかた等勉強しました。



9時30分科学技術館到着、係員の説明後1時集合まで各自自由に見学一階から5階まで様々な展示室のプログラムを楽しみました。参加型が多くタイムテーブルにのっています。

14時大使館到着予定なので1時に技術館を出発しかしし道路がすいており30分も途中で時間調整。ここで理事平山さんからお借りした資料の出番、中国の教科書・通貨を回覧したり、中国語で書いた漢字のクイズを出

したりで楽しく過ごせました。
中国大使館に到着するとオ



リンピック開催真近のためか普段より多い警備に少しびつり。玄関では友好交流部の孫参事官や担当の杜曉儀さんが出迎えてくれました。また北京オリンピックのマスコット(日本で一番大きいそうです)バイベイン・ジン・フオアン・フオアン・イン・イン・イーが待っていました。映画視聴のホールに通されま



なり重かったです。
映画は中国の子どもたちの近況を撮影した記録映画で、担当の杜さんが映像とともに流暢な日本語で解説をしてくれたのがとてもよかったです。

この時
間を利用
して栗原
理事長と
前田さん
内野で四
川省の2
回目の義
援金(30
万円)を
別室で参
事官にお



渡しました。

映画を見てお茶を頂き、次に子供たちからいろいろな質問を杜さんがうけてくださり、子ども達は初めて聞く中国の様子や日本と中国の違いなどを興味深く聞いておりました。

16時大使館を出発、交通渋滞もなく予定通り17時に学校に到着。無事解散となりました。
本日参加していた子どもたちもたちが将来中国に興味を持つてくださり日中友好の架け橋になっただけだと願っています。



8月9日(10日) たたら祭り水餃子販売

内野 繁子

今年は中国の農薬入り餃子が未解決のため売り上げが心配でしたが、天候にも味方していただき開催日は猛暑から一変してさわやかな水餃子日和となりました。

売り上げも土曜日は六千三百個、日曜日にいたつては一万三千個と昨年を上回る売り上げになりました。これもひとえに海研会・研修生・協会員の協力のおかげと感謝申し上げます。

今年は材料費の大幅な値上がりで、コックさんや通訳の劉さんにも、材料費は昨年並みにおさえ仕入れの量を少なく、質は落とさないでとにかく終了時点で材料をあまり残さないようお願いいたしました。試食会で理事の皆さんに意見を出していただき、当口はいつもよりさらにおいしい水餃子が提供できました。リピーターの方はもとより初めて食べた方からも大変おいしいとうれしい声をたくさん寄せていただきました。

「たたら名物水餃子」は本場中国の味を市民の皆様を知っていただくとともに、川口日中友好協会の友好活動のひとつとして市民の皆様へ受け止めていただければと思っております。

たたら祭り名物餃子風景



第8回中国映画鑑賞会

内野 繁子

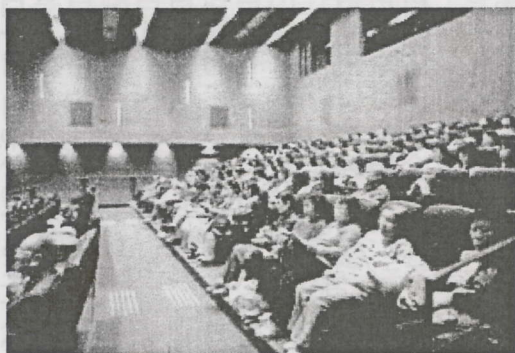
十一月九日川口市のスキップシティに於きまして第8回中国映画鑑賞会を開催いたしました。

題名は「ヴェエラの京劇」「中国の世界遺産・自然編」です。

今までは皆さんのアンケートを参考に映画を事務局で選んでおりました。今回は中国大使館の推薦で日本では未公開の作品でしたので、たくさんきてくださるか否かを心配しておりましたが、お陰様で200名を超える来場を戴きました。またホールにも一年間の事業を写真にて展示、会員の方には報告を、一般の方には川口日中の活動を知っていただく機会となりました。中国語教室の宣伝用ポスター

にも、関心を
持つていただ
き来年度の入
門クラスの間
い合わせにも
つながってお
ります。アン
ケートは一般
の方が熱心に
書いてくださり、すばらしい
映画だったの意見が多数でし
た。

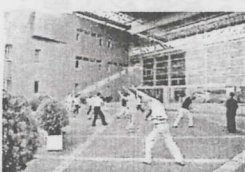
「このような鑑賞会を是非
続けてほしい」「頑張ってく
ださい」の励ましに疲れも飛
んでしまいました。会員さん
の来場がとても少ないのが残
念です。是非一度足を運んで
みてください。



埼玉県日中合宿研修会

前田 稔夫

七月十二日県日中の主催になる合宿研修会が伊奈町にある埼玉県民活動総合センターにて開催され県日中傘下各支部、協会から三十七名が参加して楽しい時を過ごしました。第一日は夜遅くまで勉強した後、皆さん一緒に集まって語り合い、所属する協会以外の情報交換をしていました。二日目朝、中庭で太極拳の講習があり、二十人ほどが参加しておりました。各クラス勉強の成果を発表して、二日間を終了しました。



第二九回 中国語発表のつどい

本多路子

九月二十八日(日)埼玉会館会議室に於いてNPO法人埼玉県日中友好協会主催第二九回中国語発表のつどいが開催されました。発表部門九名高校生・一般部門一四名団体部門三組が出場しました。

川口日中の中国語教室からは入門クラスから中岡由里さん、中級クラスから加藤展希さん、杉浦契子さんの二名が出場して、日頃の勉強の成果を発表しました。今回は各部門ともレベルが高く川口日中からの出場者も健闘しましたが、残念ながら入賞は逸しました。

今回のつどいには出場者のいないクラスから見学者がきて応援をしてくれました。来年も開催されますので今回見学に来られなかった方も参考になりますので是非応援がてら見にきてください。

また、日ごろの勉強の成果を発表できるよき機会ですので大勢の方の参加をお待ちしております。



観光・語学研修旅行

菅原 昭

来年の四月十三日から二十日までの八日間「美しき江南春の旅」を計画しています。

観光内容は紹興酒の村を訪れ紹興酒の製造を見学、紹興酒飲み放題の夕食、黄山の麓、世界遺産の宏村、西遞村の観光、景德鎮陶磁器工場、古窯跡(瓢箪窯、馬蹄窯)、陶磁器研究所など陶器製造の見学。桂林の風景区で二十元紙幣



の裏に書いてある美しい山水画の風景、漓江下りや巨大な鍾乳洞をトロッコや小船に乗っての観光です。

旅行費等決まりましたら、ご案内を致しますので皆様、多数のご参加お待ちしております。

川口市日中事務行事

七月十二日 県協会合宿研修会

七月十三日 親子教室説明会

新郷南小学校 栗原・本多・飯塚・内野

七月二十八日 親子教室 大使館訪問

八月一日 日中がわぐち三十六号発行 浅倉・前田

八月四日 たたら祭り用ポツ製作

八月九・十日 たたら祭り

九月二日 海研会たたら祭り

決算報告 前田・内野

九月二二日 県日中主催「発表の集い」練習会 参加者三人 担当本多・内野

九月二三日 事務局会議

九月二六日 国慶節 栗原

十月四日 理事会に向けて 栗原・前田・加藤・本多 増田・飯塚・内野

九月二八日 県日中主催「発表の集い」 加藤・本多・内野・李金波

十月四日 理事会 本多

十月五日 幹事会 本多

十月十日 中国映画入場券郵送分発送 内野

十月二五日 中国映画鑑賞会 展示パネルについて打ち合わせ 前田・本多・内野

十月二七日 映画鑑賞会パネル準備 前田・本多・内野

十月二八日 スキップシティー 打ち合わせ 内野

十一月九日 スキップシティー 第八回中国映画鑑賞会内野

十一月十五日 県日中に手帳申し込み黒六〇冊赤七〇冊 内野

手帳発送 前田・本多・内野

十一月二九日 中国連続テレビドラマについてのインタビュー 本多・杉野・斉藤

十一月三〇日 一〇〇九年度手帳黒十冊追加 加藤・深沢・内野

十二月一日 中国大使館参事官帰国のため挨拶及び四川大地震義援金持参 坂本・栗原・前田・内野

十二月七日 県日中中国を語る 内野

十二月八日 江南春忘年会打ち合わせ 前田・本多・内野

十二月二十三日 中国語教室忘年会 江南春日中がわぐち三十七号発行 浅倉・前田

編集後記

今年も残り数日となりました。坂本副会長から新しい年を迎えるにあたっての意義ある一文を戴きました。本会も前項にあるように数々の事業を遂行してきました。

二〇〇九年総会は二月十一日を予定しております。

皆様良いお年を！

編集・前田稔夫
制作・浅倉 登